

## 第 10 回 SACLA 選定委員会 議事概要

### 1. 日時

平成 27 年 1 月 14 日（水） 13:30～15:00

### 2. 場所

ステーションコンファレンス東京 605-A（東京都千代田区丸の内）

### 3. 出席者（敬称等略）

- 委員 [委員長] 坂田誠、雨宮慶幸、太田俊明、月原富武、豊島近、菱川良夫、三間罔興、宮永憲明、元廣友美
- JASRI 土肥義治、熊谷教孝、野田健治、後藤俊治、矢橋牧名、鈴木昌世、木下豊彦
- オブザーバ（文部科学省量子放射線研究推進室）工藤雄之、近藤昂一郎（理化学研究所）佐々嘉充、石田浩康
- 事務局 杉本正吾、坂川琢磨、河原聡

### 4. 配付資料

- 平成 25～26 年度 SACLA 選定委員会委員名簿
- 第 9 回 SACLA 選定委員会議事概要（案）
- [審議事項] 2015A 期 SACLA 利用研究課題の審査結果等について  
(詳細資料は本委員会終了後回収)
- [審議事項] 2015B 期 SACLA 利用研究課題の公募について
- [報告事項] JASRI のビームタイム利用について

### 5. 議事

#### (1) 開会

- JASRI 土肥理事長より、
  - ・ 昨年 of 自然科学分野におけるノーベル賞は、研究の 3 ステップ、すなわち「実験・観測等技術開発」、「これら技術を用いた新しい発見」、「新しい発見・知見を踏まえたイノベーション創出」に関する

テーマが、それぞれ化学賞、生理・医学賞および物理学賞を受賞するという画期的な年であった

- ・SACLA は新しい技術開発だけではなく、新しいサイエンスを開くことが期待されており、そのような成果が出始めている
- ・SACLA の運営予算とビームタイムを踏まえると多大な経費をもって利用研究が行われていることも鑑み、登録機関 JASRI は選定および技術・情報支援を今後ともしっかりと進めていきたい

との挨拶があった。

○工藤文部科学省量子放射線研究推進室長より、

- ・政府の予算は厳しい状況下ではあるが、これまでの活動実績、新しいサイエンスの開拓、および産業への波及効果等を踏まえて共用法対象施設関係の重要性が理解されており、SACLA および SPring-8 における来年度運営予算額は、ほぼ前年度同程度を確保できる見込みである
- ・今後も成果を創出し続けるという期待の下でこのような大型研究施設の運転等経費が確保されているという状況もご理解をいただきながら、是非良い課題を選んでいただきたい

との挨拶があった。

## (2) [報告事項] SACLA の現状について

JASRI より説明の後、以下の主な質疑があった。

<以下、◇=委員長又は委員、◆=JASRI>

◇産学連携プログラムのテーマはどのようなものがあるのか。

◆吸収分光法による電池関係と CDI による触媒関係が主要 2 テーマ。当該プログラムは施設側のプログラムとして実施しており、高度化の一環。産業界のみならず学术界も含めて施設側と一体的に実施している。

◇BL2 と BL3 はどのように使い分けられるのか。

◆最終的にはスイッチングマグネットを使って 60Hz を振り分ける。数シフトごとに利用 BL を切り替えるというモードでもビームをかなり効率的に利用できる。

BL2 は現状立ち上げ途上。準備ができ次第利用を開始する。

◇BL1 は独立して利用できるのか。

- ◆SCSS 加速器の移設が完了すれば独立して利用できるようになる。BL1 のアップグレードも計画中。
- ◇産学連携プログラムにおける特許の扱いはどのようになるのか。
- ◆特許が絡むのは基本的に成果専有利用。当該プログラムは成果公開利用であるとともに、対象企業のためだけに行うものではなく、施設側を含めノウハウを蓄積して次のステージへ進むための調査研究である。なお、SACLA における成果専有利用制度は、今はまだない。
- ◇ハイパワーレーザーの状況はどうか。
- ◆実際に利用されているものと立ち上げ中のものがある。今回審査した課題には、ハイパワーレーザーを利用することが前提の課題もある。

(3) [審議事項] 2015A 期 SACLA 利用研究課題の審査結果等について

SACLA 利用研究課題審査委員会 (PRC) 委員長である雨宮委員より、課題の審査スケジュール、審査において配慮した事項等、およびこれらに基づく当該期の課題審査結果について説明の後、以下の主な質疑があった。

- ◇採択課題の配分シフト数が要求シフト数に対して必ず同じかそれ以下になっているが、申請者は多めに要求しているということか。
- ◆申請者による。配分シフト数は、課題の評価点ではなく実験の内容を踏まえた適正な必要シフト数を算出している。その際、実験装置の入替時間等も考慮している。

また、雨宮委員より、以下の補足説明があった。

- ◇前 2014B 期の不採択課題に対し通知した不採択理由が判りにくい等の問い合わせがあったことを踏まえ、PRC で議論し、2015A 期より通知内容の情報を増やす等に対応することとした。

原案どおり、本審査結果に基づき、申請 66 課題のうち 33 課題を採択すること及び採択 33 課題に対し計 144 シフトを配分することが承認された。

(4) [審議事項] 2015B 期 SACLA 利用研究課題の公募について

JASRI より説明を行い、特に意見等はなかった。

原案どおり、2015B 期 SACLA 利用研究課題の公募の内容等が承認され

た。

- (5) [報告事項] JASRI のビームタイム利用について  
JASRI より説明があり、特に意見等はなかった。
- (6) 前回議事概要案の確認について  
原案どおりで承認された。

以 上